

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0240015 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	中核市市長会負担金					
担当部名	企画部			担当課名	政策調整課	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	中核市市長会
開始・終了年度	平成	8	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	中核市市長会を通じて、地方分権改革を推進し、実現する。					
内容 (手段・手法など)	国が進めようとしている地方分権改革を推進し、地域の自主性と自立性を高めるため、中核市市長会を通じて行う国に対する様々な要望、政策提言に向けた研究を進めるとともに、加盟市として負担金を支出する。					
事業の 対象	何を	負担金				
	誰に	中核市市長会				
	どのくらい	500千円				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	500	500	500
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		500	500	500

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	533	532	532

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	533	532	532

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	1	1

**【7.指標】**

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	負担金支出額		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	500	500	500	
実績値	500	500	500	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	国等への提言活動回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	1	1	
実績値	8	9	7	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	全中核市で構成された団体であり、地域の中核を担う中核市として、 国に対する様々な要望、政策提言に向けた研究を行うため必要である。 全中核市(行政組織)で構成された団体であり、市が参加する必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	中核市市長会を通じて、国に対する様々な要望、政策提言を行っている。 全中核市(行政組織)で構成された団体であり、市が参加する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	中核市市長会を通じて、国に対する様々な要望、政策提言が行われているほか、同じ中核市との意見交換・情報交換を図ることができる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	中核市市長会を通じて、国に対する様々な要望、政策提言を行っている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	地域の中核を担う中核市として、国に対する様々な要望、政策提言に 向けた研究を行うため、中核市市長会の加盟市として負担金を支出する ことは必要。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0240015	__ 002
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜地域広域圏協議会負担金					
担当部名	企画部		担当課名		政策調整課	
実施方法	補助等		補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	岐阜地域広域圏協議会
開始・終了年度	平成	22	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜圏域6市3町において、様々な行政課題に対して対応するため、広域連携を深めていく。					
内容 (手段・手法など)	岐阜圏域6市3町の連携強化を図るため、首長同士の意見交換や、トップセミナーなどを実施している岐阜地域広域圏協議会に対し、加盟市として負担金を支出する。					
事業の 対象	何を	負担金				
	誰に	岐阜地域広域圏協議会				
	どのくらい	70千円				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	令和2年度、3年度において新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業を中止したこと等により繰越予算が生じたことから令和4年度の負担金を減額調整している。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		245	0	70
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	245	0	70
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		245	0	70

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	278	32	102

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)      令和3年度決算額(千円)      令和4年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	278	32	102

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	0	0

**【7.指標】**

**アウトプット評価** (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	負担金支出額		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	245		0	70
実績値	245		0	70

**アウトカム評価** (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	協議会(首長会議)開催数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1		1	1
実績値	2		2	2
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。 岐阜圏域6市3町(行政組織)で構成された団体であり、圏域内の市として参加する必要がある。 広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、類似のものはない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため職員研修などが中止となり予算を繰り越したため、令和3年度は費用負担がなかった。また、令和3年度も同様の理由により一部事業が中止となり予算を繰り越したため、令和4年度は令和2年度に比べ負担金支出額が減少した。 岐阜圏域6市3町(行政組織)で構成された団体であり、圏域内の市として参加する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため職員研修などが中止となり予算を繰り越したため、令和3年度は費用負担がなかった。また、令和3年度も同様の理由により一部事業が中止となり予算を繰り越したため、令和4年度は令和2年度に比べ負担金支出額が減少した。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため職員研修などが中止となり予算を繰り越したため、令和3年度は費用負担がなかった。また、令和3年度も同様の理由により一部事業が中止となり予算を繰り越したため、令和4年度は令和2年度に比べ負担金支出額が減少した。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため職員研修などが中止となり予算を繰り越したため、令和3年度は費用負担がなかった。また、令和3年度も同様の理由により一部事業が中止となり予算を繰り越したため、令和4年度は令和2年度に比べ負担金支出額が減少した。